

演習について

1, 事例：特別養護老人ホームにおける事故報告から虐待が発見された事例

- ・事例は、2012年度老人保健健康増進等事業の研究事業で行ったヒアリングを参考に、モデル事例として創作したものです。
- ・演習1～3は同じ事例を用いて行います。

2, 演習の内容

【演習1】通報・届出の受理と事実確認の準備 (別冊1)

【演習2】事実確認と虐待対応ケース会議 (別冊2)

【演習3】対応方針の作成、改善計画、モニタリング、評価・終結 (別冊3)

- ・各演習の進行、内容はその都度講師より説明します。
- ・各演習とも二つのワークを行います。演習資料は次のように構成されています。

ワーク1 演習要綱

事例情報

ワークシート

ワークシート記入見本

解説

- ・資料は、演習の進行に合わせて配布します。

3, 演習のグループ分けについて

- ・本演習のグループは、1グループ6人～7人としています。
- ・演習ファシリテーターとして、高齢者虐待対応システム研究会委員が、数グループに1名付きますので、演習中に不明のことがあればお尋ね下さい。

4, 演習を進めるにあたっての留意事項

- ・事例演習は、虐待対応の基本的流れと各段階の対応のポイントを学習して頂く主旨であり、事例検討ではありませんので事例の細部にこだわらないようにして下さい。
- ・今回の演習では、前述の研究事業で開発した「養介護施設従事者による虐待対応帳票」を使用します。初めて帳票を使うことになり、慣れないこともあると思いますが、記入することが目的ではないので、演習を通じて体感して下さい。